

農業は自己表現ができる仕事

西村純一

西村さんの前職は東京の電子部品関係の営業職、その前は飲食店関連の仕事をしていました。そのため、農業に関しては未経験です。

現在は、地域おこし協力隊として、白糠で約45年野菜農家を営んでいる宮木農園で、基礎の基礎から学んでいます。

——地域おこし協力隊として白糠町に来ることになったのはどうしてですか。

以前から農業に興味があったのですが、どうやったら農家になれるのかが分かりませんでした。そんなときに都内で農業フェアが行われていることを知り、参加しました。そこではじめて白糠町のことを知りました。

それから網走や中頓別、別海など、道内の農家へ見学や体験をしに行きました。どの町もとても良い町だったので、白糠が一番住んで楽しそうだと思うのと、野菜と

酪農のどちらでもできる環境だったので、白糠にしようと思えました。

——白糠町の印象を教えてください。

はじめて来たときは、月並みな感想ですが自然が多いなと思いました。

住みはじめて数カ月経ちましたが、町の人たちの人柄がとても良いなと感じています。元気な人が多くて、会話をするのが楽しいです。

——農業という世界に飛び込むことへの不安はなかったのでしょうか。

白糠へ来る前は少しありましたが、今は不安も悩みもまったくありません。毎日とても楽しくて充実しています。不安がなくなつたのは、来る前にしっかり計画を立てていたのと、町の方々が温かく迎え入れてくれたおかげです。

農業とは関係がありませんが、前職では朝から晩まで働いていて、それはそれで充実していたのですが、今は三食



地域おこし協力隊 西村純一

「農業を通して
自分を表現したい」